

Forest 通信 H29 3

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター NO.337

巻頭 photo **高尾山の生きものたち**

アオジ (ホオジロ科)

地味な感じの冬鳥のアオジは全長16cm。中部以北の山地や北海道で繁殖し、中部以南の低山や丘陵地などで越冬生活を。

越冬中は暗い場所を好むようですが、時には明るい所に現れて、写真の様に良きモデルになってくれることもあります。

間もなく繁殖地に帰ります。来冬もその可愛らしい顔を見せてね!

(来月号はクロジを掲載予定です)。

今月の一句

「鳥世界 アオジにクロジ アカジなし」



(フォレストサポートスタッフ 大作栄一郎)

～ダンコウバイとアブラチャン～

二美ちゃん 富ちゃんの
俺の高尾

Vol.20

日影沢では、ハナネコノメが咲き出しカツラの芽も赤味を帯びてきた。これからダンコウバイなど多くの花が咲き出してくる。まだ冬枯れの残る景色の中で、他の樹木に先駆けて花を咲かせるダンコウバイの黄色い花を見ると「やっと春がきた」という気持ちになってくる。

ダンコウバイやアブラチャンはクスノキ科クロモジ属の落葉広葉樹、雌雄異株、葉に先だって花を咲かすなど共通点も多く、よく似ているため識別は難しいが、ダンコウバイの花序の柄は短く、花が枝か

ら直接咲いているように見えるのに対し、アブラチャンの花序は柄が長いので枝から離れたところで咲く。このように花の咲き方と花序の柄の長さで、識別が容易となる。ダンコウバイは香りがよいことから楊枝に利用されることもある。また、花が美しいため切花に利用されることも多い。

アブラチャンは、材や種子に油が多く、種子から採った油はよく燃えるので行燈(あんどん)の油に使われていた。

高尾山はこれからが花の盛りです。花を眺め春の息吹きを感じてみるのもいかがでしょうか。(二美)



ダンコウバイ



ダンコウバイ

アブラチャン

花序柄が短い

花序柄が長い

森林教室

～依頼イベント～

穴を掘って炭窯づくり！



～多摩市立 連光寺小学校～

1月31日（火）・2月1日（水）の二日間、東京都多摩市立連光寺小学校の5年生70名の生徒たちを対象に「総合的な学習の時間」として出前森林教室（炭焼き体験）を行いました。炭焼き体験を実施する場所は、小学校の校舎の窓から校庭の向こう側に見える、森林総合研究所多摩森林科学園が管理する連光寺試験林の中です。

一日目は開校式の後、6班に分かれて炭焼き及び炭窯づくりの説明を受けました。それから必要な資材を運搬し、スコップや唐グワを使っての窯づくり作業を実施しましたが、穴掘りの段階から作業を開始し、無事に窯を完成させることが出来ました。

窯が出来上がった班から職員の指導のもと、炭の材料の竹を並べ、断熱材として機能する落ち葉を詰め、エントツを設置し、トタン板で蓋をして土をかぶせました。そして窯の焚き口で火を燃やし、焚き口から団扇（うちわ）で熱風を送り込みました。しばらくすると窯の温度や煙の状態が安定し、作業が一段落しました。

午後からは、森林センターの職員による「森林のはたらき」と森林科学園の「森のつながりを知る学習（雑木林のワーク）」の講義を聴きました。そして再び外へ出て、今度は花炭づくりに挑戦しました。材料を缶の中へ入れ、たき火の中へ投入し、花炭ができて上がるまでの間は、別途焼いておいた焼き芋を美味しくほおばっていました。焼き芋を食べ終わった班から花炭の缶を開封し、中に入れてあった松ぼっくりやドングリが花炭となったのを見て、子どもたちからは大きな歓声が上がっていました。

二日目は、いよいよ窯出しです！子どもたちは勿論ですが、各班を担当した職員も、どんな結果になったのか不安いっぱいドキドキでした。でも窯を開けて出来あがった竹炭を見ると、想像以上の出来映えで安心しました。各班とも出来上がった立派な竹炭が壊れないように慎重に窯から取り出し、持参した袋に詰め込んで持ち帰りました。竹炭を取り出した後は、みんなで協力して窯の埋め戻し作業を行いました。

閉校式では子どもたちの代表から「エントツから出る煙の色が変わるのにびっくりした！」「穴掘りが大変だった。とても疲れた。」「CO₂を減らすため、木をたくさん植えたい。」等の感想が出されました。最後に子どもたち全員から「炭焼き体験」のお礼の文集を頂いて、無事に森林教室を終了しました。（屋）



チームワークは抜群!



～八王子市立 上川口小学校～

2月21日(火)・22日(水)の二日間、八王子市立上川口小学校へ炭焼き体験の出前森林教室に行きました。全校生徒60名弱という少人数の学校ですが、人数が少ないことが功を奏してか、チームワークは一級品といった印象を受けました。5年生をメインとした森林教室でしたが、各学年への花炭の指導も併せて実施しました。

まず一日目は炭焼きと、アニメおよびパワーポイントでの森林学習です。午後になり森林教室のプログラムが一段落したところで先生が用意したマッシュマロを焼きました。皆とても美味しそうにほおばっていました。

二日目はいよいよ窯出しです。職員も含めドキドキわくわくの瞬間です。土と落ち葉を丁寧に取除いてみると「ワァ〜!」と歓声が上がりました。炭焼きは大成功です。出来上がった炭は地域のイベントで販売し、売上金を公的機関等に寄付する予定です。

シャイな子どもたちでしたが、閉会式では全員から感想を聞くことができました。(磯)



ヒノキを伐採しました! ～職場体験～ 江東区立 南砂中学校

文部科学省は、中学校等の教育課程で、生徒たちにさまざまな職業の現場を体験させることで、生徒が職業や仕事の実際について体験したりする学習活動として職場体験学習を実施しています。今回は、2月1日(水)・2日(木)に江東区立南砂中学校の2年生の男子3名の職場体験学習を受け入れました。

一日目は東京事務所にて、森林・林業についての学習などを行い、二日目はセンターで間伐作業を体験しました。生徒たちは、生きた樹木を伐倒するのはもちろん初めてとあってか、メキメキと倒れてい

くヒノキを見て感動していました。そして枝払い・玉切り・運搬と作業を行っていく過程で林業の大変さを感じてもらえることが出来たようです。そのほかに薪割りも行いました。斧を使うのも初めての体験でしたが、注意深くこなしていました。

短時間の職場体験ではありましたが、生徒たちからは「林業は辛いけどやりがいを感じた。」「今日の体験を将来に活かしたい。」等の感想が聞かれ、一回り大きく成長した様子でした。この体験を期に様々なステージでの活躍を期待しています。(皿)



平成29年度 森林カレッジ受講生募集

高尾山で自然とふれあいながら森林・林業について学んでみませんか。

【カレッジⅠ】



日程
平成29年5月20日（土）

内容
講義「森林の見方」
森林散策

講師
一般社団法人森林・自然
環境技術者教育会長

桜井 尚武 氏

【カレッジⅡ】



日程
平成29年7月8日（土）

内容
講義「森に学ぶ～森づくり
ことづくり ひとづくり」
体験作業（下草刈り）

講師
東京農業大学教授

宮林 茂幸 氏

【カレッジⅢ】



日程
平成29年10月7日（土）

内容
講義「木の成長としくみ」
体験作業（間伐）

講師
元多摩森林科学園園長

三輪 雄四郎 氏

【カレッジⅣ】



日程
平成30年1月20日（土）

内容
講義「森林の恵みと共に
炭焼き、そして森の香り」
体験作業（炭焼き）

講師
東京大学名誉教授

谷田貝 光克 氏

募集人数 : 30人（応募者多数の場合は抽選とします。）

対象者 : 森林・林業に興味があり、18歳以上70歳未満の健康で急傾斜地での作業や山歩きが可能な方。

申込方法 : 往復ハガキに、①住所、②氏名（ふりがなを入れる）、③年齢、④職業、⑤電話番号（自宅と携帯電話）を記入のうえ高尾森林ふれあい推進センター「森林カレッジ係」までお申込ください。

申込締切日 : 平成29年4月21日（金）

参加費等 : 傷害保険料として300円（4回分）程度負担いただきます。

※日程及び内容は変更する場合があります。

【お問合せ先】 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター

（住所・電話番号等は下記のとおり）

編集後記

梅の花もほころび、やっと春を感じられるようになった。

当たり前だが、時が過ぎれば森林教室にやってきた小学生は中学生に、職場体験にやってきた中学生は高校生へと成長してゆく。

記憶について考えてみると、子ども時代と大人では随分と違って感じるものだ。私自身、初者となった今でも子ども時代の思い出は鮮明だ。これからも、センターに来てくれた子どもたちにとって楽しい記憶が残るように頑張るぞ～！（磯）

ホームページ QR コード



Forest 通信 No.337

発行：林野庁関東森林管理局高尾森林ふれあい推進センター

【ご意見、ご要望及びイベント情報のお問合せ先】

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町 2438-1

電話 050-3160-6040 FAX042-663-7229

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>